

日本とフランスの交流百五十年を記念した「日仏交流こども科学バカンス」が河津町で行われている。六日は両国の小、中、高校生合わせ四十一人がアユ釣りなどに挑戦した。



初めてアユの友釣りに挑戦して大喜びの子どもたち＝河津町の河津川で

両国NPOが企画

交流150年記念し 科学バカンス開催

小、中、高校生41人が来町

日、仏のNPOが共同企画したもので、海、山、川などの自然や温泉に恵まれ、パリと姉妹関係にある河津バガテル公園があること、川端康成の「伊豆の踊子」の舞台などから河津町が体験地に選ばれた。

生物の多様性や温泉、水、火山に秘められた再生可能エネルギーがテーマの夏学習で、当初はフランスの子どもたちも多く参加する予定だったが、秋葉原の無差別殺傷事件などもあり参加者は六人となったという。先月二十九日から国民宿舎かわづに宿泊、今月十一日まで滞在する予定。

来町後、専用バスで町内のわさび田や峰の大噴湯などを見学したり、郷

土史家から河津の歴史勉強。富士山ろくにもかけて自然学習した。六日は河津川非出漁協の協力でアユの友釣りを初体験、アユのつ

